



「認知症フレンドリーな錦江町」 づくりプロジェクト

～安心して認知症になれるまちを目指して～



令和 7 年 12 月 12 日（金）

錦江町 副町長 有村智明

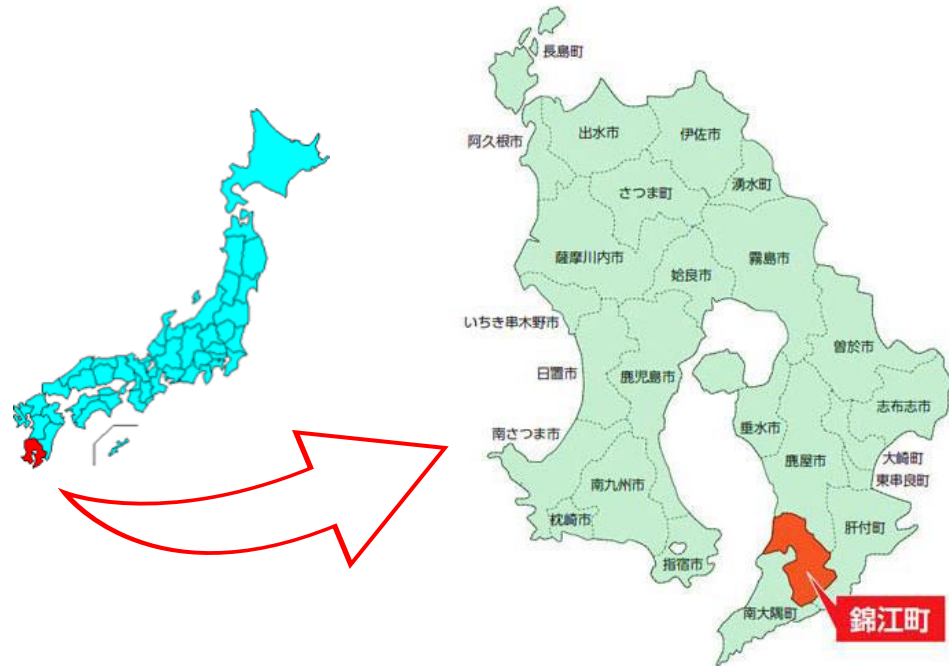
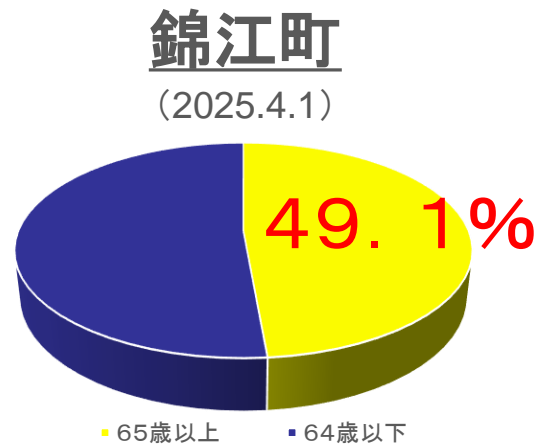
錦江町の概況

○ 概況

2005年に、旧大根占町と旧田代町が合併して誕生

○ 人口 6,944人（2020年 国調）⇒ **6,136人**（2025年4月1日現在）
（△808人）

○ 高齢化率



※ 県内で第2位の高さ

錦江町の概況

○ 認知症の方の人数(2025. 4. 1)

★ 要介護認定を受けている方の中で

・ ランク I 以上 **481人**

→ ※ 高齢者の6.2人に1人、町民の12.8人に1人

(内訳) 日常生活自立度

ランク I	78 人	→ 日常生活はほぼ自立
II	253 人	→ 誰かが注意していれば、自立可能
III	105 人	→ 介護が必要
IV	45 人	→ 常に介護が必要
M	0 人	→ 専門医療が必要

日常生活自立度別割合

ランクIV以上

90.6%

ランクI～III

私たちの目標：「認知症フレンドリーな錦江町」

「認知症フレンドリーな錦江町」づくりって？

「認知症フレンドリーな錦江町」づくりの基本的な考え方

起 点

- × 専門職や家族の声・意見
- 認知症当事者の声・意見



3 つ の 柱

- ① 全ての町民さんに**認知症や認知症の人に対するこれまでのイメージ**を変えていただく！（普及啓発）
- ② 認知症があっても、**少しでも生活しやすく、使いやすいまち**に変えていく！（まちづくり）
- ③ 認知症があっても、**やりたいことにチャレンジし、社会や当事者同士でつながっていける場所・仕組み**をつくる！（認知症カフェ）

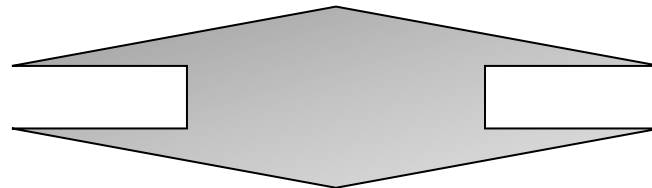
これまでの取組①（普及啓発）

- ① 全ての町民さんに認知症や認知症の人に対する
これまでのイメージを変えていただく（普及啓発）

国

認知症サポーター養成講座

➞ 支援する人（↔ 支援される人）、応援する人



本町

認知症パートナー養成講座

➞ 対等な関係で協力し、
一緒に目標達成を目指す人

「できないことをお手伝いしながら、
同じ地域で一緒に暮らしていく」

これまでの取組①（普及啓発）

★ 認知症パートナー養成講座の内容・構成

① **認知症当事者の声**
(丹野智文さんの講演動画視聴)

+

② 町の考え方や取組の説明

+

③ **まちづくりへの参画呼びかけ**

これまでの取組①（普及啓発）

庁内キックオフミーティング
まずは、役場職員から～



小学生と若年性認知症当事者 丹野智文さんとの交流
毎年、多くの小学生が参加！

町内キックオフミーティング
建設業、金融機関、商店、警察、農業法人、学校、一般町民
など多くの皆さんが参加！



出前方式でのパートナー養成講座開催
事業所や地域のサロンに出向いて開催

これまでの取組②(まちづくり)

- ② 認知症があっても、少しでも生活しやすく、使いやすい
まちに変えていく！(まちづくり)

★ オープン・イノベーション

$$1 \times 1 \times 1 = 1$$

$$1 \times \text{壱} \times \text{ONE} > 100$$



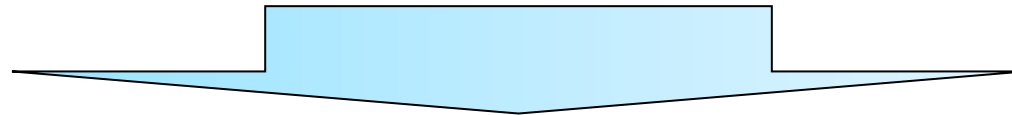
- 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム(チーム あ!! to HOME)の立ち上げ
- キックオフミーティングやパートナー養成講座の参加者に、同チームへの参画を呼びかけ

これまでの取組②(まちづくり)

★ 令和 7年11月末現在の推進チーム員の状況

医療(10)、介護・福祉(8)、学校(1)、金融機関(1)、小売(4)、
青年団(1)、一般町民(10)、町議会議員(5)、公民館長(1)、
自治会長(6)、民生委員(8)、在宅福祉アドバイザー(1)、NPO法人(5)、
地域おこし協力隊(1)、役場若手職員等(11)、その他(1)

計 74名



オープン イノベーション

多様な主体に参画してもらうことで、行政だけでは持ちえなかった「アイデア」「知見」「パワー」をいただく

公民共創

公民一体となって、社会課題の解決をめざす

公民のセクターを
横断した多様な
パートナーシップ
(SDGsターゲット17)

これまでの取組②(まちづくり)



認知症フレンドリー事業所の登録制度
現在、介護事業所、物産販売店、NPO、建設会社、
図書館、商店、病院など9事業所が登録

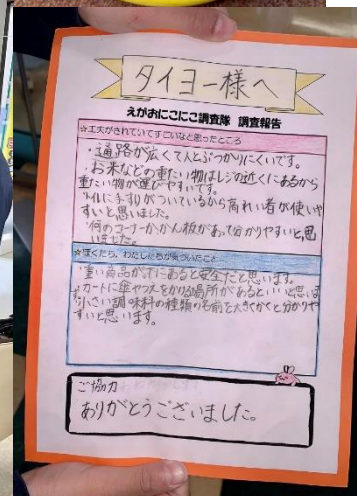


認知症当
事者をボラ
ンティアとし
て受け入れ

スローレジ
の設置



小学生と当事者による「えがおにこにこ調査隊」活動
町内の5つの事業所をまわり、認知症当事者や高齢者が使いやすい
店舗にするための提案を取りまとめ、店長に提言



トランク・ライブラリーの企画・製作
認知症当事者の体験談等を詰めた4つの
トランクが町内を巡回中

これまでの取組②(まちづくり)

Our Project 活動

① まずは、錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」の当事者の声を読み解く！

錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」当事者メンバーの声

(R5.1.11 14:00～15:35)

今後、ゆうゆうカフェで、どんなことをしていきたいか？

照葉樹の森のビクターセンターに行きたい！
(91歳女性・田代)

遠足に行きたい！佐多岬とか。
(82歳男性・田代)

現状維持でいい。今が楽しい！
(72歳男性・神川)

みんなで集まること
が楽しい！
(76歳男性・城元)



あそこに行きたい、ここに行きたいとかはない。
かねては、ひとりでのんびり。
みんなの話を聞いて、このカフェに私も行ってみたいと思って参加した。
(初参加・75歳女性・大原)

ゆうゆうカフェに限らず、自分の生活の中で、これからの人生でやってみたいことは？

(カフェの)みんなとやりたいことばかり。
何をと言うことはないが…
(76歳男性・城元)

人と接するのがいちばんいい。
だから、私は、電動車に乗ってあちこち行く。
人と接することがいちばんの楽しみ。
人と会るのがいちばん楽しい！
(84歳女性・神川)

私も(カフェの)みんなとやりたいことばかり。
何をと言うことはないが…
(82歳男性・田代)



なかなか難しい質問だ。
自分で今までやってきたことが、少しでも、みんなのためになれば。
自分の経験を活かして、地域のために貢献できれば。
(72歳男性・神川)

今に満足。特にない。
(91歳女性・田代)

動物が好き。犬、猫、牛。かわいがる。私たちに冷たくしたことはない。
犬も猫も2匹いる。好きだ！いなくなっても、次のを飼う。

花を植えるのも好き。実際に植えている。花とか野菜の苗を売ってる本をずっと見ている。
自分の趣味で。
他にやりたいことはない。夫は、「バカ牛が安かった」とか言うが、かわいしい。

(カフェの)みんなで(どこか)行きたい。決めてくれたら、どこに都合をつけるよ。
(75歳女性・大原)

困りごとやつらいことなどに対し、自分で取り組んでいる工夫や対応策は？

電動車で神川までは行ける。
電動車は、歩道を走れるからいい。
(84歳女性・神川)

寂しいときは、人に来てもらったり、
出かけた方がいい。
(91歳女性・田代)

今でも、車にも乗れるんだが…
自転車でもどこまで行ける。
(76歳男性・城元)



私は、電動車でも行きたい。
夫が乗せてくれるから。
もう2年になる。
(75歳女性・大原)

(運転免許の返納は)自分で決断したのだから、あとは、自分を納得させる。
どうしないと、自分みじめになる。
それではいけないので、明るく、考えを変えた方がいいだろうと言うことで。

電動車で、遠くは、山越えをして、大原まで行く。
(82歳男性・田代)

運転免許を返納した時の気持ちは？

昨年3月か。頭が悪かったから、返納した。

長男が思い切って、電動車を何も言わないのに買ってくれた。
最初は、勝手なことをやかってバカやロー！と思った。
自分をみじめにさせられた。
もうどんな歳なんだねーと思った。
今は、電動車があってよかった。

孫がいるような歳になって、(警察に)つかまるようなことは
したら絶対にいかにと思った。
孫が大学入学が決まりどうだったの、そんな時に悪いことは
申し訳ないと思って決断した。
(82歳男性・田代)

その時は、しょうがないと思った。
(72歳男性・神川)



いちばんの楽しみは？

(カフェで)こうして集まるのが
楽しい！
(72歳男性・神川)

今までいろんなところに住んできた。埼玉の大宮にも住んでいた。
どうしても帰って来いと言うことで帰ってきたが、最初は慣れなかった。
運転免許もなかったし、そもそも車を使わない生活だったから、馴染めた。
友達とお茶飲みが楽しい！
(91歳女性・田代)

カフェで皆さんと話をすることが
生きがい！
だから、毎回、遠足に行きたいと
言っている。



バックワーク！裁縫が好き。
たまにビールを飲むが、ひ
どいなので、めったに飲まな
い。
(84歳女性・神川)

ビール、焼酎の晩酌を毎日やるのが
楽しい！
(82歳男性・田代)

(みんなと)カフェと一緒に
やるのがいい！
みんなでこうしてしゃべって、
元気になるのがいい！
(76歳男性・城元)

夫が牛を飼っている。8頭くらいいて、かわいしい。人間より、牛が
かわいしい！夫は草をどってきて食べさせるだけ。
畜舎の掃除などは、私がやっている。牛の世話が楽しい！
言うことを聞くし、私に頭を下げる。かわいしい！
牛がいていいねと言われると、うれしい！
(75歳女性・田代)

令和4年3月パンフレット作成時の当事者インタビュー①

以前、私も難い思いをしたが、自分はもう気にしないことにした。
悪いことをしているわけでもないし、人に迷惑をかけるわけでもない、自分はまっすぐ。
そういう気持ちでいるから、もうあまい…
だけど、「私は認知症だ」と言っている人がいたら、私もこういう経験をしたので、それは私も、
話しておきたい。
でも、そんなに気にすることはないと思う。なったらなったら、仕方ないから。
まあ、自分なりに一生懸命生きて、人に迷惑をかけない、周りの人に迷惑をかけない、そして、朝夕のあい
さつをする。
そして、周りの人は、まともだ、おかしくないよとなる。何も考えることはない。
人間はよくよくしないと、なんかやるべき。
シルバー人材センターの仕事もあるわけだから、そういうところに行って仕事をさせてもらって…
まず、ずいぶん変わってくると思う。

(仕事がたくさんあるので)楽しい。これが楽しくないと言ったら、それこそ失敗だ。
(74歳男性・宿利原)



これまでの取組②(まちづくり)



② 当事者の声から、「当事者の皆さんが、何をしたいのか、共に何ができるか」について出し合う。

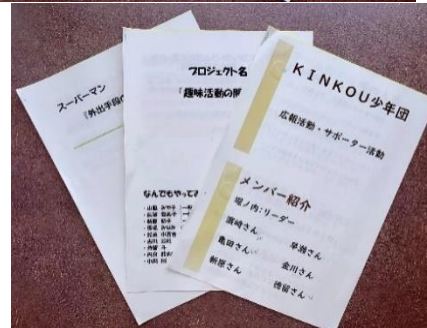
- ① 交流事業(場所)の開発
- ② 交流事業(他・多世代交流)の開発
- ③ 社会参加の推進
- ④ 趣味活動の開発
- ⑤ 外出手段の開発
- ⑥ 広報活動・サポート活動



④ 6つのテーマのうち、取り組みたいものをそれぞれ選択



⑤ それぞれのチームごとにテーマに沿った具体的な取組内容を検討



⑥ 6つのプロジェクトが誕生！



⑦ 「ゆうゆうカフェ」の当事者の声を直接聞き、各チームの取組内容をブラッシュアップ！

これまでの取組②(まちづくり)

Projectの目的	当初のチーム活動	現在のチーム活動
① 交流事業(場所)の開発	① チーム あいま ○ 無人販売所やキッチンカーを活用した交流拠点づくり	① チーム あいま
② 交流事業(他・多世代交流)の開発	② チーム 風は南から ○ 農作物の植付・収穫共同作業等を通じた交流機会の確保	② チーム 風は南から
③ 社会参加の推進	③ チーム プロジェクトX ○ ゆうゆうカフェメンバーの社会参加推進への挑戦	③ チーム いろとりどり(新規) ○ よろっで農園や子ども食堂とコラボした障害者・子どもたちとの多世代交流
④ 趣味活動の開発	④ チーム なんでもやってみよう会 ○ 町内の観光スポット、お花見できる場所リストづくり	④ チーム プロジェクトX
⑤ 外出手段の開発	⑤ チーム スーパーマン ○ コミュニティバスの路線見直しやあいのりタクシーの普及啓発等	→ 解 散
⑥ 広報活動・サポート活動	⑥ チーム KINKOU少年団 ○ ゆうゆうカフェやサロン活動等のPR活動等	→ 解 散 ⑤ チーム おでかけパートナー(新規) ○ 高齢者等の買物支援や移動支援
		⑥ チーム KINKOU少年団

これまでの取組③（認知症カフェ）

- ③ 認知症があっても、やりたいことにチャレンジし、社会や当事者同士でつながっていける場所・仕組みをつくる！（認知症カフェ）

従来の認知症カフェ

「誰でも参加自由！」と言うと、良さそうに見えて…

痴ほうにだけはなりたくないねー

オレもボケが進んできたわ～

こんな雰囲気では、認知症のことは話せないわ…

しかも
当事者の
参加なし

認知症の方のご家族

令和3年度～

- ① 認知症当事者とその家族だけを対象とするカフェを開催する！！
- ② 地域のDAYS BLG！のようなカフェを目指す！！

これまでの取組③（認知症カフェ）

★ カフェのスタイルの変遷 & 今後のキーワード

カフェ開設当初（R3年5月～10月）

困り事ややりたいことを話題とする**ミーティング型**

大根占小学校での共同作業や子供たちとの交流を通じて、

- ・ 人の役に立つことの喜び（生きがい、やりがい）
- ・ メンバーさん同士の仲間意識、お互いを思いやる気持ちが確実に醸成

小学校でのボランティア作業以降（R3年11月～）

「参加」「交流」「仕事」をメインとする**活動型**

◆ ゆうゆうカフェのキーワード

- ① 自己選択・自己決定
- ② 社会貢献や仲間意識の醸成につながる共同作業
- ③ 子どもたちや事業所等との交流



これまでの取組③（認知症カフェ）

小学生との共同作業

若年性認知症当事者 丹野さんとの交流まで終え、「パートナー」の意味を理解している子どもたちが、当事者の皆さんの作業をサポート



- ・育てる野菜の種類、
 - ・担当する作業内容、
 - ・つくる料理の種類、
 - ・売る野菜の組み合わせ・価格など
- 全て当事者メンバーさんたちの
自己選択
・自己決定！



野菜づくり → 育てた野菜を使った料理づくり、野菜販売
カフェの当事者メンバーさん宅の畑をお借りし、野菜を育てる！



これまでの取組③（認知症カフェ）

事業所と連携した「ハタラク」取組

- 第1・3・5水曜日 ⇒ 従来の「当事者同士でつながるカフェ」
- 第2・4水曜日 ⇒ 「社会とつながるカフェ」 = 事業所と連携した有償・無償ボランティア

その日に何に取り組むかは、
自己選択・自己決定！



枝物生産組合でのシキミ
の集荷の準備作業



地元のスーパーでの
野菜等の袋詰め・陳
列作業

Our Projectの
「プロジェクトX」
チームとも連携



介護事業所での清掃作業



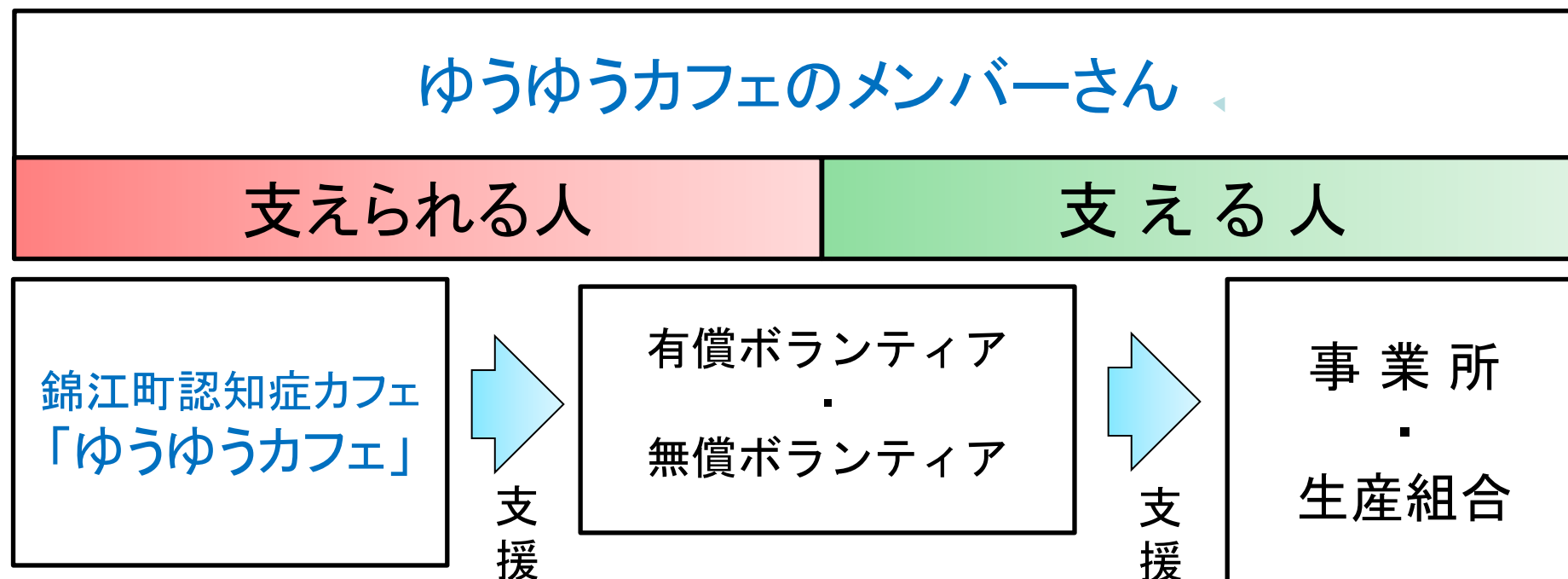
町内の木材加工事業者から無償提供され
た町産材の端材を活用した積み木づくり



町民さんから無償提供された
タオルを活用した雑巾づくり



これまでの取組③（認知症カフェ）



「認知症の方を支える」ことにより、
「認知症の方が事業所や生産組合を支える」側に回る。

時に「支えられる人」、時に「支える人」
＝ 地域共生社会の理念の実践

これまでの取組③（認知症カフェ）

★ メンバーさんたちの「声」の変化～

カフェ開設当初

やりたいこと？
特にないなあ～

何でもいいよ～

どれでもいいよ～



小学生との交流～最近

ただでいいから、
店員さんにして
ほしい！

カフェで、皆さん
と話すのが生き
がい！

こうして集まる
のが楽しい！

2回目の青春
が来て、いい
でした！

なんやったっけ？
でも、楽しかった！

まだ仕事したかった
けど、時間が来てあっ
という間だった！

今日のカフェでは、
〇〇をやりたい！

一生懸命でした！
周りの声も聞こえ
んくらいに～

この仲間の中
に元気でおれ
てよかった！

いつも1人なんだ
けど、みんなと会
うと、楽しい！

みんなと
やりたいこと
ばかりだ！



これまでの取組③（認知症カフェ）

★ 私たちスタッフの意識の変化～

カフェ開設当初

メンバーさんたちの
生活課題をどうやって
解決するか？

メンバーさんたちの
ために何をやれるか？

課題解決指向

小学生との交流～最近

メンバーさんたちに、
どうやって、やりがいや
生きがいを感じていただ
くか？

メンバーさんたちといっ
しょに何をやれるか？

可能性指向

エピローグ

ご清聴ありがとうございました
ございました～！

